

平成 30 年 10 月吉日

第 1 回アーバンデータチャレンジ 2018

in Kagoshima のご案内

アーバンデータチャレンジ(UDC)は、一般社団法人社会基盤情報流通新進協議会(AIGID)が平成 25 年度から実施している一般参加型コンテストで、地方自治体を中心とする公共データを活用した地域課題解決を目的としています。NPO 鹿児島インフアーメーションでは、2017 年度から UDC に参加し、IT を活用した地域活性化の推進を目指しています。

2018 年度は 3 回の実施を計画しており、第 1 回を以下のように開催いたします。特に IT に関係あるなしに関わらず広く一般の方々の参加を募集しますので、どうぞ奮ってご参加ください。

記

日 時：2018 年 10 月 30 日（火）14:00～17:00（受付 13:30～）

場 所：ソーホー鹿児島 会議室 A
鹿児島市易居町 1 番 2 号 鹿児島市役所みなと大通り別館 6 階

講 師：柴田重臣氏（Code for Japan）UDC メンター

募集定員：20 名程度

参加費：無料

テ ー マ：《2020 年鹿児島国体に向けてのスポーツデータの収集と活用》

内 容：

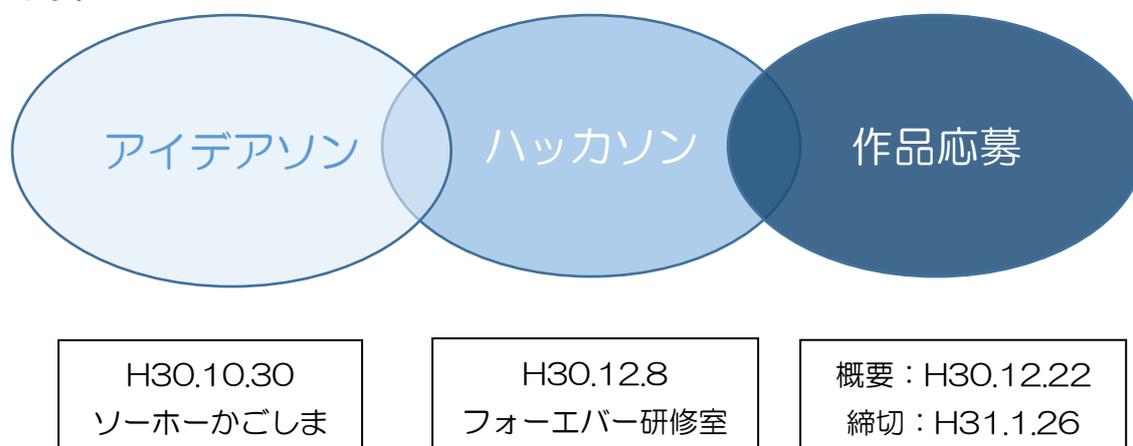
2020 年、東京オリンピックが開催される年に、鹿児島では国民体育大会（かごしま国体）が開催されます。このようなスポーツの祭典を前に、県民のスポーツへの関心を高め、より一層スポーツを楽しみ、国体ムードを盛り上げるべく、アイデアソンを実施します。

アイデアソンとは、アイデアとマラソンを組み合わせで作られた造語で、いろいろな分

野の人々が集まってグループでのディスカッションを通じて、新しいアイデアを生み出していこうとするイベントのことです。

鹿児島ではサッカーやバスケットボールをはじめとするプロスポーツだけではなく、一般市民が楽しむための草野球やゴルフ大会、ボウリング大会、少年サッカー、バレーボールなどいろいろなスポーツが各地で開催されています。これらのデータを収集し活用することで、一般市民のスポーツへの関心を高めて、いつものスポーツをより楽しいものにするだけでなく、スポーツをしない人たちへもスポーツの楽しさを発信できるのではないかと考えます。

今回に続く第2回UDC（平成30年12月8日土曜日9:30～16:30）では、ハッカソンを行って今回のアイデアを具体的な形にして、アーバンデータチャレンジへの作品応募を行うことを目標とします。またハッカソンの成果物は、第3回目のシンポジウム（平成31年1月開催予定）でプレゼンテーションを行ってもらう予定になっております。



アイデアソンの流れとして

作業内容のレクチャー>課題設定>アイデア出し>アイデア洗練>UX・ビジネスモデル設計>ツールでプロトタイプ作成>発表・共有

参加方法：

鹿児島インフォメーションのホームページ (<http://infarmation.org>) の参加申込サイトからお申込みください。

主 催：NPO 鹿児島インフォメーション

一般社団法人社会基盤情報流通推進協議会

後 援：一般社団法人鹿児島県情報サービス産業協会

以上